

平成23年度事業報告

1 法人としての活動

23年度は、新作業所の建築を行った。22年度末に1750万で取得した土地の開発許可を取るために、測量と上下水道の整備を年度の前半で行ったが、この作業が9月までを要してしまった。そのため建築設計を専門とする会社、(株)内藤ハウスに依頼したのは10月になってしまった。

この間、県庁障害福祉課には、就労継続B型(菓子製造販売)の定員を現在の15名から30名に、生活介護は7名のままで、合計定員は37名の施設として、シーモックを建替える旨の説明を行った。

設計に約2ヶ月を要したため、12月末に着工、3月15日引渡しの予定で工事を行った。この間法人は日本政策金融公庫に3000万の融資を依頼した。しかし引渡してから建物完成後の担保設定を経て最終融資が行われるまで1ヶ月近くかかり、年度末とも重なったため資金不足になり、短期の借入を起さざるを得なかった。

3月中に県庁障害福祉課に最後の説明に行き、4月より「糸久45-2に定員37名のシーモック」として再出発する事となった。

なお3月末に糸久の作業所にて水質検査と店舗検査を行い平成24年4月9日よりの店舗再開に備えた。

2 通常の事業活動

○就労継続B型(菓子製造販売)

平成23年度は新規利用者3名、退所者3名の動きがあった。定員を超えての利用があり、学生実習通して、新卒生の利用希望もあり新作業所建設と定員増が急がれていた。

菓子の製造では前年度より利用者が作る場面に入り現場支援員の工夫により計量・成型・型掃除などに安定的に入ることが出来た。

お菓子の販売について定期的に利用者と支援員が出かけ販売、納品を行った。イベント会場販売等多くの人の協力により前年度より売り上げを伸ばすことが出来た。

余暇活動としてバスでディズニーランドに出かけた。

○生活介護

生活介護の活動内容は散歩・体操、作業(菓子袋のシール貼り・ペットボトルのリサイクル)、創作活動を行った。利用者個々のペースに合わせ、いろいろな角度から活動に参加できるよう支援した。リサイクル活動では、12月に市原市の資源回収団体に登録し2回資源回収を実施している。また、23年度から作業活動に見合った給料を支給した。余暇活動は2グループに分かれてディズニーランドへ行った。

○ケアホームどんぐり

どんぐりは5人の入居者で推移したが、1名の入居者が他のホームへの転居を希望し、昨年から見学を重ねていたところ、新設のホームへの入居が叶い退去した。その他の入居者のうち男性2名については高齢化が目だってきている。